

Ⅱ 火災の概要

1. 火災の概要

(1) 出火件数と出火率

令和2年（1月～12月）の出火件数は418件で、前年に比べて33件増加しており、全都道府県中では、第18位となっている。

また、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は3.2件となっており、全国平均（2.7件）に比べ0.5件上回っている。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が170件（40.7%）で最も多くなっている。また、林野火災は4件で、前年に比べ3件減少した。

1日当たりの出火件数は1.1件（前年1.1件）で、無火災の市町村は黒滝村、野迫川村、上北山村、川上村の4村である。

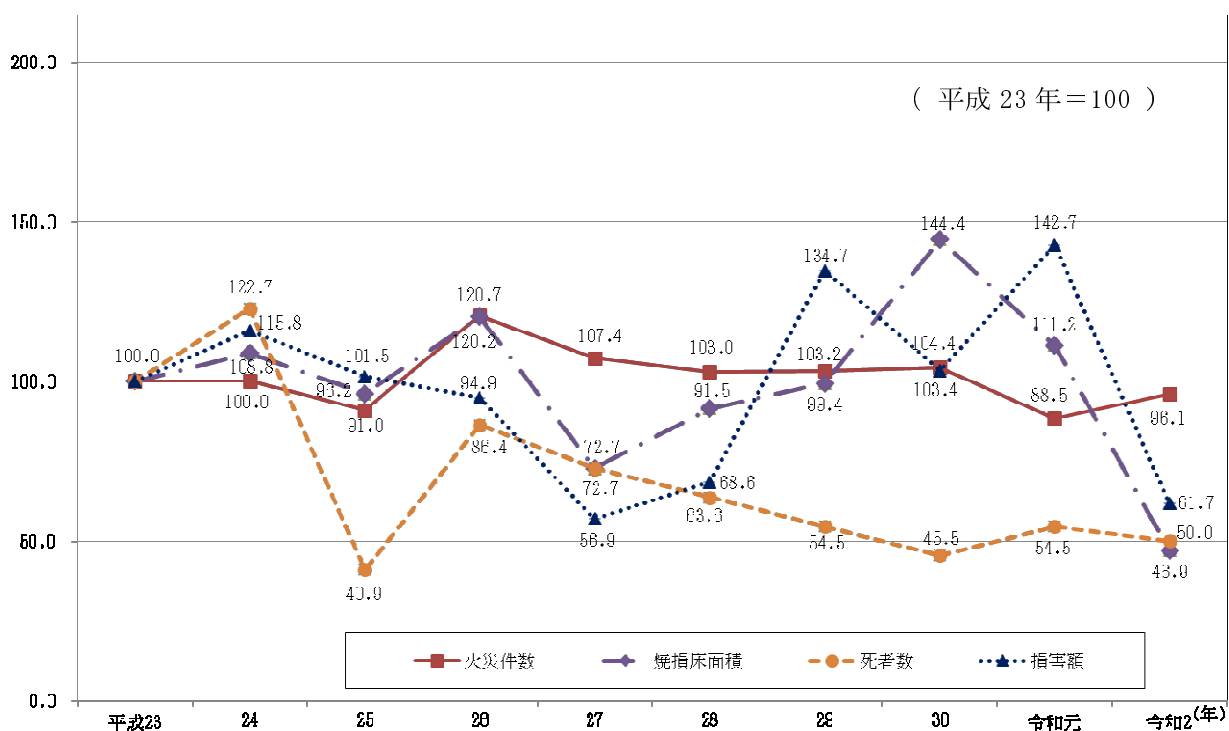
火災種別出火件数

（単位：件）

区 分	令和元年	令和2年	対 前 年 比 較	
			増 減 数	増 減 率 (%)
建 物 火 災	190	170	△ 20	△ 10.5
林 野 火 災	7	4	△ 3	△ 42.9
車 両 火 災	39	46	7	17.9
そ の 他 火 災	149	198	49	32.9
合 計	385	418	33	8.6

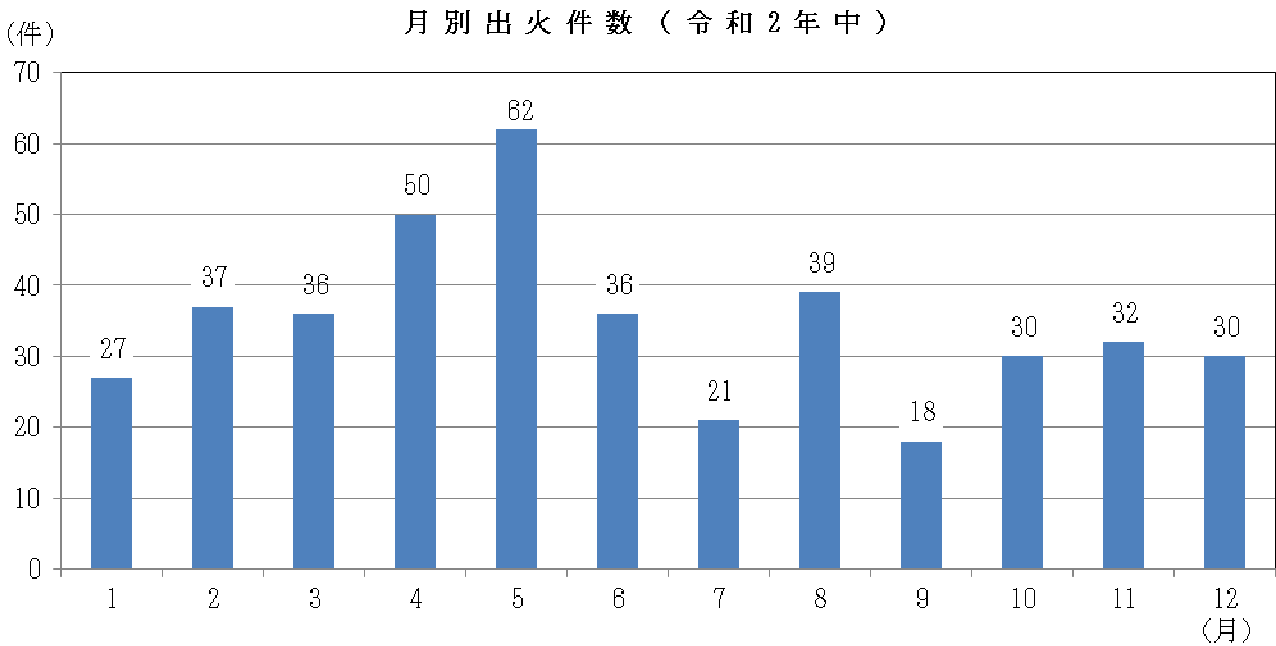
(%)

火災の傾向



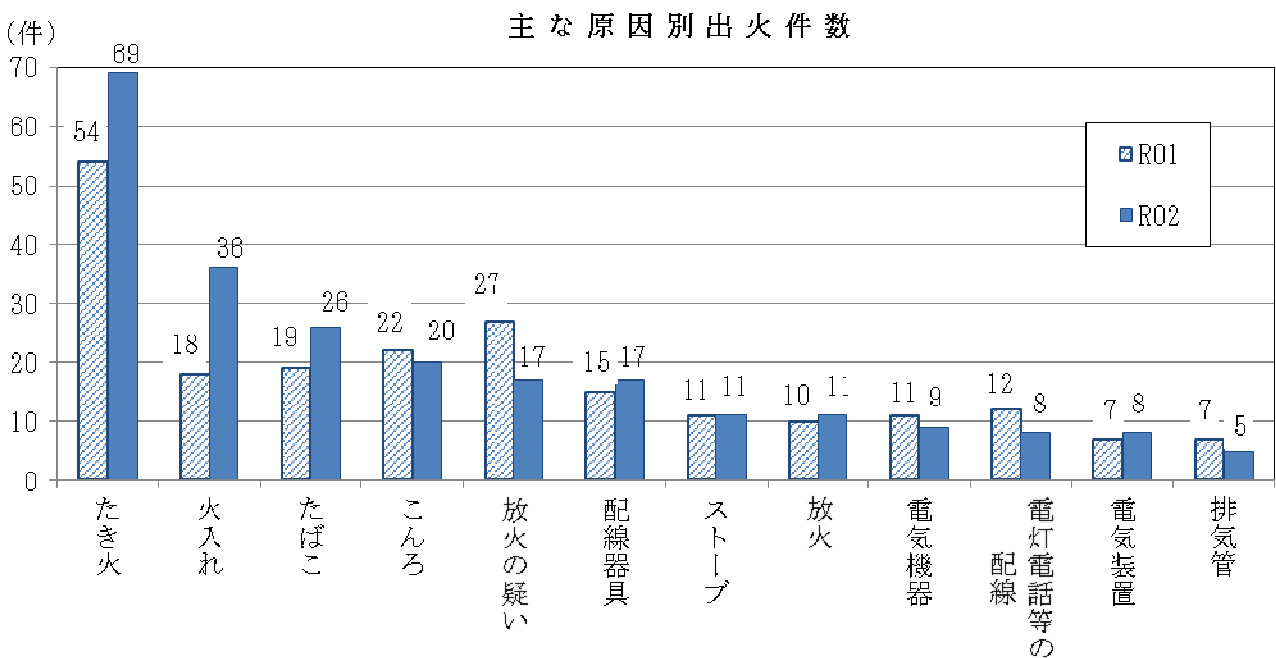
(2) 月別出火状況

月別の出火件数は、5月が62件（全体の14.8%）で最も多く、次いで4月の50件（12.0%）、8月の39件（9.3%）となっており、最も少ない月は、9月の18件（4.3%）である。



(3) 出火原因

出火原因の大半は、放火や火の不始末、不注意から発生している。令和2年中（1月～12月）の出火原因の第1位は、「たき火」による火災が69件（16.5%）、第2位が「火入れ」によるもので36件（8.6%）、第3位は「たばこ」によるもので26件（6.2%）となっている。



(4) 焼損棟数と焼損面積

令和2年中（1月～12月）の火災の建物焼損棟数は225棟で、前年に比べ54棟（19.4%）減少し、そのうち全焼は56棟（前年68棟）で、焼損棟数合計の24.9%を占めている。建物焼損床面積は5,522㎡で、焼損表面積は883㎡であった。

また、林野焼損面積は70aで、前年に比べ1,196a減少した。

	建 物							林 野		
	火災 件数 (件)	焼 損 棟 数 (棟)					焼 損 面 積 (㎡)		火災 件数 (件)	焼 損 面積 (a)
		計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	床面積	表面積		
平成30年	210	310	73	19	92	126	16,990	2,026	16	487
令和元年	190	279	68	21	90	100	13,079	875	7	1,266
令和2年	170	225	56	15	58	96	5,522	883	4	70

(5) り災世帯とり災人員

令和2年中（1月～12月）の火災でり災した世帯数は134世帯で、前年に比べ49世帯減少し、そのうち全損は27世帯で、全体の20.1%を占めている。

また、り災人員は288人で、前年に比べ129人減少した。

り災世帯とり災人員

	り 災 世 帯 数 (世 帯)				り 災 人 員 (人)	1日当たり り災人員 (人)
	計	全 損	半 損	小 損		
平成30年	183	49	8	126	451	1.2
令和元年	183	51	11	121	417	1.1
令和2年	134	27	7	100	288	0.8

(6) 死傷者数

令和2年中（1月～12月）の火災による死者は11人で、前年に比べ1人減少しており、建物火災によるものが8人、その他によるものが3人であった。また、死因は、一酸化炭素中毒が5人、自殺が4人、火傷が2人となっている。

一方、負傷者は55人で、前年より11名減少した。

死 傷 者 の 数

(単位：人)

	死 者										負 傷 者	
	計	年 齢 別							性 別			
		20歳 以下	21～ 40歳	41～ 60歳	61～ 80歳	81歳 以上	不明	男	女	不明		
平成30年	10	2	1	1	4	2	0	7	3	0	70	
令和元年	12	0	2	0	5	5	0	9	3	0	66	
令和2年	11	0	1	2	5	3	0	6	5	0	55	

火災種別及び出火時間帯別死者数

(単位：人)

	合計	火災種別				出火時間帯別						
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	0～ 4時	4～ 8時	8～ 12時	12～ 16時	16～ 20時	20～ 24時	不明・ 調査中
平成30年	10	6	0	1	3	2	1	2	2	0	3	0
令和元年	12	9	0	2	1	2	2	0	0	3	5	0
令和2年	11	8	0	0	3	2	2	3	1	1	1	1

死に至った経過別及び死因別死者数

(単位：人)

	合計	死に至った経過別						死因別					
		逃げ 遅れ	出火後 再侵入	着衣 着火	放火 自殺	その他	不明	火傷	一酸化 炭素中 毒・窒 息	打撲・ 骨折等	自殺	その他	不明
平成30年	10	1	0	1	2	2	4	5	2	0	2	0	1
令和元年	12	4	0	1	3	2	2	1	7	0	3	0	1
令和2年	11	3	0	0	4	0	4	2	5	0	4	0	0

(7) 損害額

令和2年中（1月～12月）の火災による損害額は7億805万円で、前年に比べ9億2,988万円減少した。うち建物火災は6億3,363万円で、全体の89.5%を占めている。

また、火災1件当たりの損害額は169万円で、1日あたりに換算すると、194万円が毎日灰になっていることになる。